



週報

Rotary
東京本郷ロータリークラブ



2015-2016 年度 国際ロータリーテーマ 「世界へのプレゼントになろう」
東京本郷ロータリークラブテーマ 「きちんと 楽しく 我らはロータリアン」

創立/平成 3 年 3 月 13 日 (1991 年)

事務局/〒 102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-9-6-905 電話: 03-3238-5350 FAX: 03-3238-5352

インターネットホームページ: <http://www.t-hongo-rc.gr.jp> E-mail: office@t-hongo-rc.gr.jp

例会: 毎週水曜日 12 時 30 分 例会場: ホテルメトロポリタンエドモント 電話: 03-3237-1111

〒 102-8130 東京都千代田区飯田橋 3-10-8

会長: 河合 洋 副会長: 本郷 滋 会長エレクト: 小野澤亮介 幹事: 樺本健夫 会報関連委員長: 服部浩美 会報リーダー: 林 一好

3 月 30 日 第 1175 回例会

2016 年 3 月 30 日発行 (No. 1128)

本日の例会

ビュッフェ例会

— 会員懇談 —

席次のテーマ: 誕生月

次回の卓話 (4 月 6 日)

「判断を狂わす六つの欲」

菅野 日彰 会員

3 月 23 日 第 1174 回例会報告

卓話

「敗戦の悲哀、永遠に心に残る」

近藤 博隆 会員

「内容を録音したデータが事務局にあります」



卓話をする近藤博隆会員

会長報告

1. 先週は、実行委員会並びに会員各位のご協力をいただき、無事に創立 25 周年周年記念例会が終了できたことを改めまして御礼申し上げます。まだ、記念誌作成もあり、皆様には資料のご提供やインタビューのご依頼をすることもありますが、引き続きよろしくお願いいたします。

2. 赤羽商業高等学校より、昨年、当クラブで引き受けましたインターンシップ事業に関するお礼状が届いておりますので、ご報告いたします。お礼状は回覧いたしますので、ご覧下さい。
3. 本日は、馬さんが米山奨学生としての最後の例会となります。今後は、本郷国際友の会の 1 人としてご活躍いただきたいと思います。そして、時間がある時は何時でも例会にお立ち寄り下さい。また、馬さんから会員各位へプレゼントをいただきました。テーブルに配布してありますので、お持ち帰り下さい。馬さん、有り難うございました!!

幹事報告

1. こころの東京革命協会より会報が届きましたので、各テーブルに配布いたしました。また、平成 27 年度「中学生の主張 東京都大会」文集を回覧いたします。
2. ローターアクト新人研修会が開催されます。当クラブにはローターアクトクラブはございませんが、良い交流の場になると存じますので、ご検討下さい。
日 時: 4 月 17 日 (日) 12:30 ~ 15:30
場 所: 石神井公園 内 野球場
詳細はクラブ事務局へお問い合わせ下さい。
3. 本日、地区青少年奉仕委員会がバナー事務所で開催されます。松下会員、松岡会員が出席されます。
4. 青少年交換留学生ノエミさんが 25 日 (金) より「ジャパントア」に出発します。日本の歴史的な名所などをめぐり日本文化をより一層深めています。

ただきたいと思います。

ジャパンツアー終了後にはスピーチをお願いします。

5. 馬さんからのプレゼントのほかにテーブルに「ささかまぼこ」が置いてあります。
先日の記念例会にご出席いただきました仙台商工会議所 間庭専務からいただきました。是非ともご賞味ください。



米山奨学生 馬 紅梅さん
最後のご挨拶

馬さんから会員の皆さんへ手作りお菓子プレゼント！

出席

会員数：51名 欠席出席免除者：5名 出席数：36名
欠席数：10名 出席率：78.26%
3月9日修正後出席率：86.67%
ビジター：1名
クラブゲスト：高橋 哲様（地区青少年交換委員）
馬 紅梅さん（米山奨学生）
ノエミ・デルーさん（青少年交換留学生）

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

ニコニコBOX

- * 高橋 哲様（地区青少年交換委員）
貴クラブ25周年おめでとうございます。ノエミさんお世話になります。3/25～4/2ジャパンツアーに御一緒してきます。よろしくお願い致します。
- * 柴山修一会員
64歳になりました。ここに来て白髪を染めるのを止めました。気が付かない人もおられますが、誰だか分からない人もいます。
- * 井田吉則会員
結婚して30年になりました。夫婦で「家族はつらいよ」の映画を観に行きましたが、大いに笑い、また考えさせられました。
- * 河合 洋会員
25周年、皆様のおかげで無事終了いたしました。ありがとうございます。

ニコニコBOX 20,000円
累計 938,853円

「若者へのメンタリングで活躍する女性たち」

ロータリー・ニュース：2016年3月8日

日本では「メンタリング」という言葉に聞き慣れない人も多いことでしょう。これは、「メンター」と呼ばれる経験豊かな年長者が、対話や助言を通じて経験の浅い人や若者の人材育成を行うことを指し、アメリカでも比較的最近に使われるようになった言葉です。アメリカのロータリアン、クララ・モンタネスさんは、学生の頃、「メンタリング」という言葉を耳にしたことがありませんでした。大抵の人は大卒後に就職しますが、モンタネスさんは就職前に結婚し、出産。子育ての後でキャリアを歩みはじめました。相談できる人がいなかったと、今は保険会社のシニアディレクターを務めるモンタネスさんは当時を振り返ります。しかし、2003年にワシントンDCロータリークラブへの入会を誘われたことで、すべてが一変しました。「正直言って、ロータリーへの入会には消極的でした。自分にメリットがあるとは思えなかったんです」とモンタネスさん。「しかし、クラブで出会った仲間たちは、活動に積極的に参加する方法について丁寧に指導してくれました。メンターとして頼りにできる人をもつことの価値を知り、クラブ、地元地域、そして職場で、自分でもリーダーシップを発揮できるようになったんです」こうしてモンタネスさんは、米州機構へのロータリー補欠代表となり、3月8日の「国際女性デー」イベントの企画を手伝うことに。世界銀行本部（ワシントンDC）でのこのイベントは、国際ロータリー理事ジュニファー・ジョーンズさんによる司会の下、ロータリー・ウーマン・オブ・アクション賞の過去の受賞者であるディーパ・ウリソングムさんとマリオン・バンチさんをゲストに迎え、World Bank Liveを通じてインターネットでも中継されます。仕事と家庭の両立をめざす若い女性たちのメンターとなる機会をロータリーが与えてくれた、とモンタネスさん。米国大学女性協会（AAUW）の最近の調査では、男女の賃金格差により、学費ローン返済が女性たちの大きな負担となっていることが分かっています。「苦勞している若い女性たちは、ロータリーなら安心、と相談してくるんです」アメリカ（ミシガン州）のセントジョセフ・ベントンハーバー・ロータリークラブ会員、ジャッキー・ヒューさん（マルチメディア会社社長）も、「メンター」としてのロータリアンの役割を実感した一人です。

続きは、<https://www.rotary.org/> からご覧下さい。

本日の例会にて、

ロータリー財団寄付 0名 0円
米山特別寄付 2名 20,000円

のご寄付をいただきました。
ありがとうございました。